

長池地区 防災計画

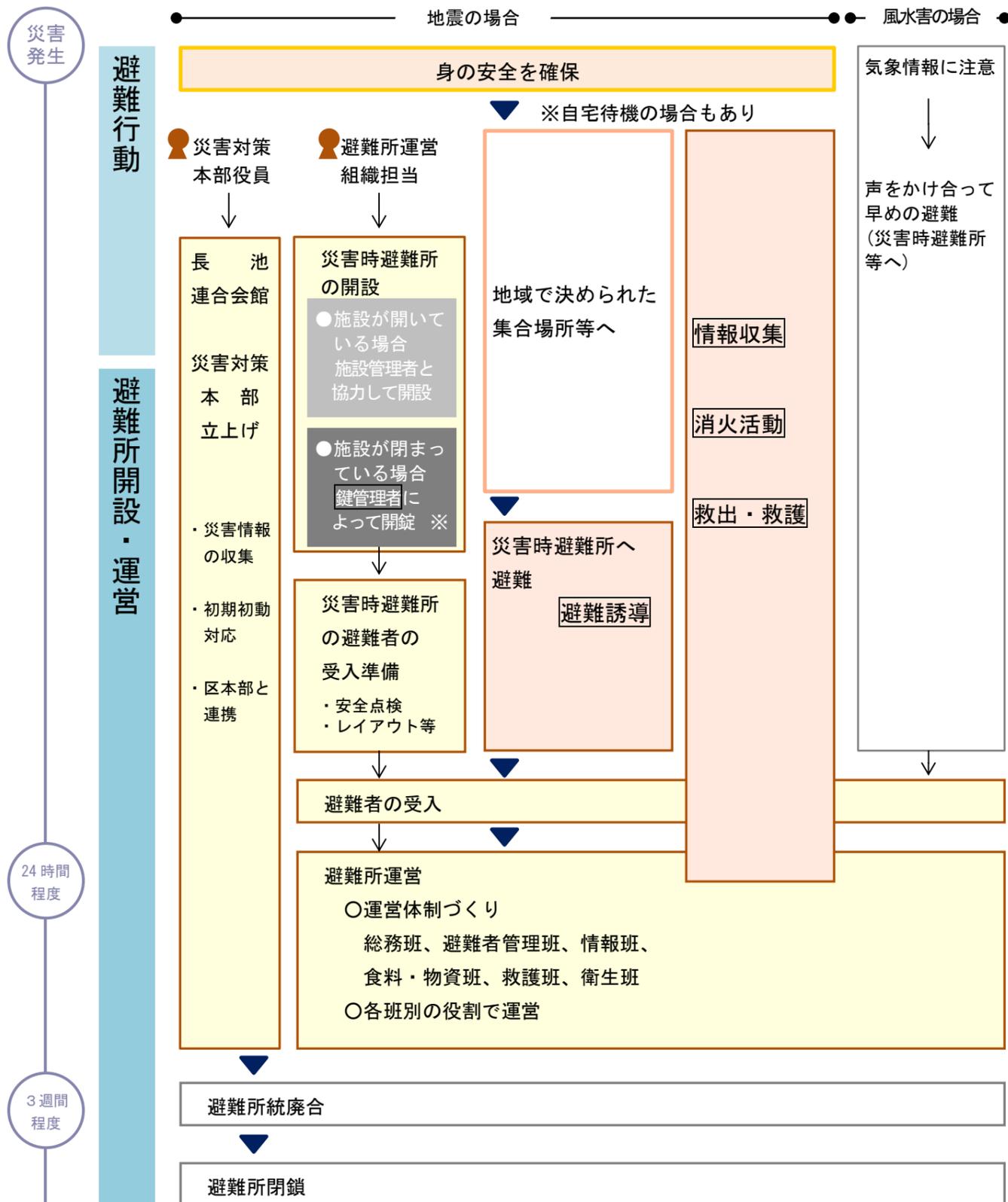
地震等各種災害から命を守る



平成 29 年 3 月

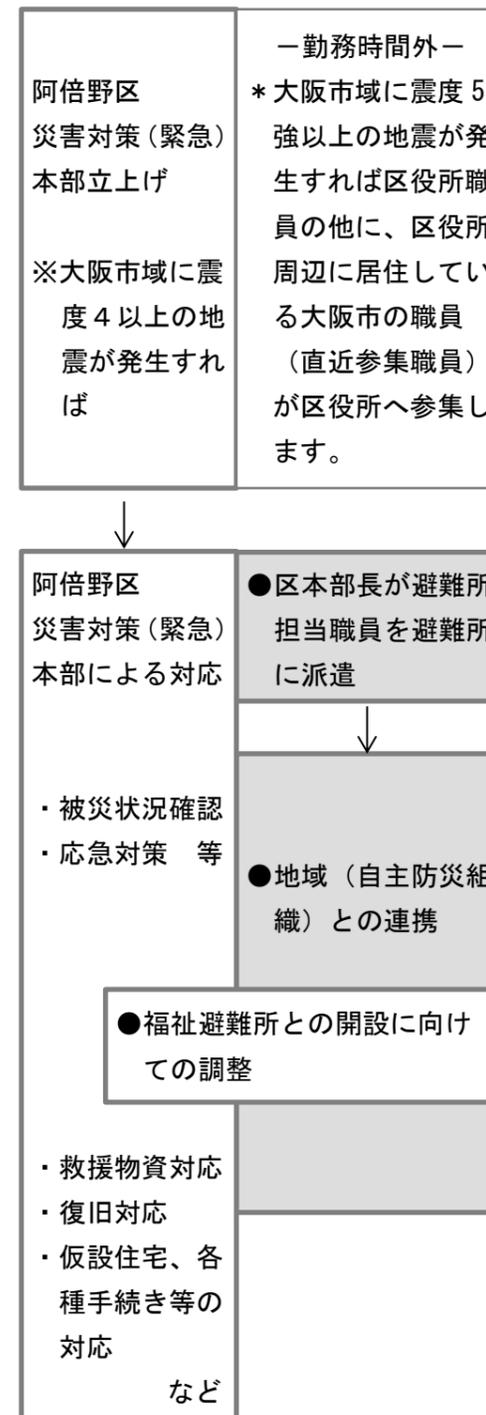
1 全体の流れ

災害時の避難行動、避難所開設・運営の流れは次のとおりです。

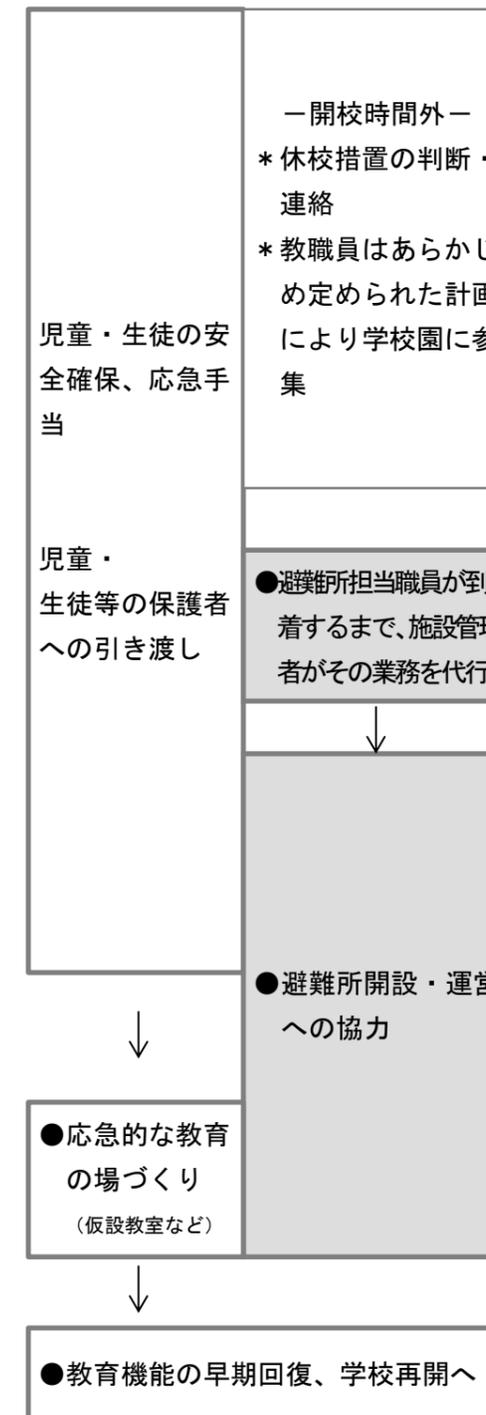


[参考]

〈地域の行動の流れに関わる区役所の流れ〉



〈地域の行動の流れに関わる学校園（施設管理者）の流れ〉



災害発生

緊急速報メール（※）などによる災害発生情報

身の安全を確保

- 揺れが収まるまで安全確保
- あわてて外に飛び出さない
- ラジオやテレビ等で正確な情報を得る

安全確保が
第一！揺れが
収まったら一緒にいる家族
等の安全を確認

- 家族の安否を確認
- 避難に向けて、出口確保
- 電気のブレーカーを落とす
- ガスの元栓を閉める

10分

隣近所で声を
かけ合い

- 声をかけ合って
安否確認

避難行動要支援
者への避難支援
も地域で配慮し
ます！助け合って地域の
集合場所など近く
の安全な場所へ

- お互いに助け合って
避難

身近なところでの
確認が、“命を守り
合う”迅速な活動
につながる地域防災リーダー
及び班長を中心に
確認・活動

- 安否確認
 - 状況により、協力し
合って救出・救護
- ※自宅の安全が確認できれば
帰宅する方もいます。

状況を見て災害
時避難所へ避難

- できるだけまとまって
助け合って避難
- ※避難者は施設の安全が確認
され、準備が整うまで校庭
等で待機

！
地域で役割分
担を想定して
います

数時間

※「緊急速報メール」は携帯電話事業者が無料で提供するサービスで、国や地方公共団体による災害・避難情報等を、回線の混雑の影響なく、特定のエリア内の対応端末（携帯電話）に一斉に配信するもの

その1 避難行動時の役割分担

- 町会ごとに集まる場所（地域の集合場所）を決めておきます。

メモ

町会	地域の集合場所：
----	----------

- 災害時、直後の活動は町会単位を基本とします。各町会の活動拠点を「地域の集合場所」として、各町会、地域防災リーダー と 班長を中心に協力を得ながら活動します。

〈役割分担〉

地域防災リーダー 消火活動、救出・救護、避難誘導を担当

班長 班の方の安否確認、状況の把握を担当

→町会ごとに情報を集約

地域防災リーダーさん

- 災害時には、リーダーシップをとって協力者を得て活動
- 講習などで学んだノウハウを日ごろから伝えていくようにしましょう。

各町会での取り組み

- 班長さんの交代期にひきつぎを！
- 災害時には、地域の集合場所を拠点として町会の情報を集約

班長さんの心得

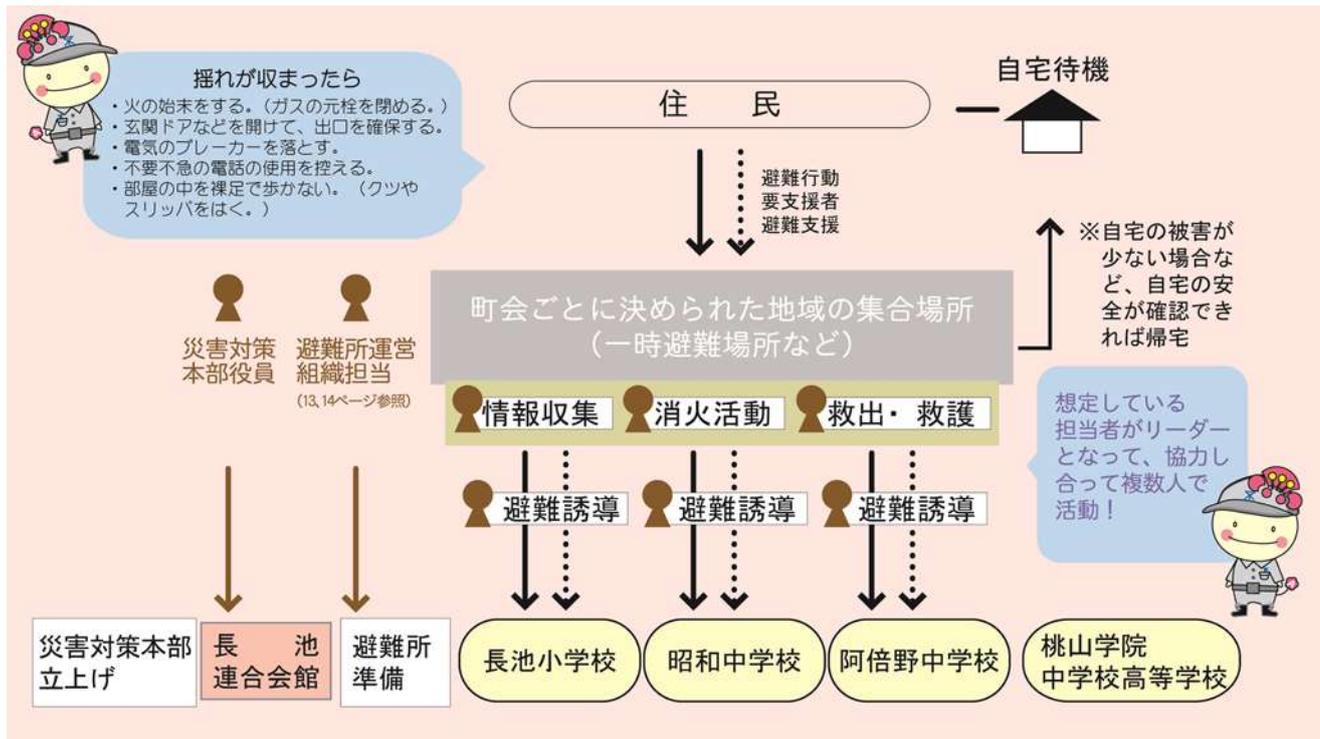
～班長さんになられたら～

- 地域の集合場所を確認しておきます。
- 日ごろから、班の方の見守りを心がけます。
- 災害時には
 - －まずは、ご自分やご家族の身の安全確保
 - －次に、班の方の安否、状況を確認
 - －地域の集合場所に情報を伝達
 - －消火、救出・救護が必要な状況があれば地域防災リーダーと連携

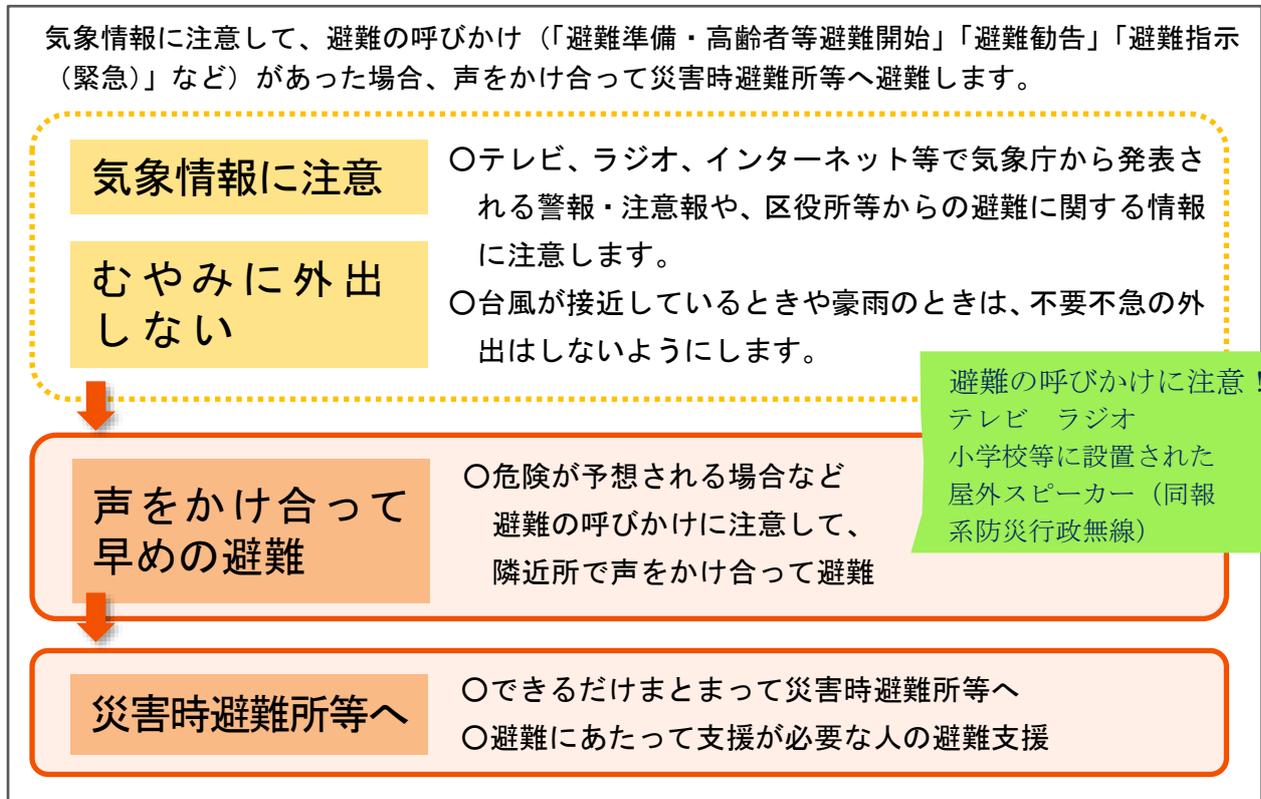


協力者を得て活動しましょう！

■避難時の流れ



●風水害の場合は？



3

災害対策本部の立上げと災害時避難所開設・運営

3時間程度
が目安



24時間程度
が目安

災害対策本部立上げ
[長池連合会館]

- ・ 災害情報の収集
- ・ 初期初動対応
- ・ 区本部と連携

災害時避難所の開設

- ・ 長池小学校
- ・ 昭和中学校
- ・ 阿倍野中学校
- ・ (桃山学院中学校高等学校)

- 施設管理者等と連携して災害時避難所の開設
- 施設の安全点検

* 学校の開校時間内は施設管理者が開放
* 開校時間外は避難所担当職員、施設管理者が開設
* 避難所担当職員、施設管理者ともに不在で緊急の場合、
地域の鍵管理者によって開設

避難者の受入準備

- 備蓄倉庫の中から「災害時避難所開設時用物品」を取り出し、準備
- 施設のレイアウトづくり



★備蓄倉庫の位置を確認しておきましょう！

避難者の受入

- 避難者の受付
- 名簿作成
- 区災害対策本部への報告

避難所運営

- 運営組織の設置
- 各班別の役割実施

！
地域で役割分担を想定しています